

万博駐車場交通連携システム検討会 設立趣意書

2025年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」という。）は、我が国有数の都市圏である大阪・関西地域で開催され、来場者の交通需要による道路、鉄道等の混雑が想定されている。

このため、大阪・関西万博の開催に当たっては、万博来場者の安全で円滑な移動を実現するとともに、大阪・関西圏の社会経済活動を支える人流・物流への影響を最小化することが必要不可欠である。

来場者輸送においては、原則、鉄道や主要駅からのシャトルバス等の公共交通機関の利用を呼びかけるとともに、やむを得ず自家用車を利用する者に対しては、舞洲、尼崎、堺の会場外（P & R）駐車場からシャトルバスによる連絡を行う計画としている。

来場者の会場外駐車場へのアクセスについては、一般道や周辺地域への影響低減の観点から最寄りの阪神高速の出入口への誘導や、阪神高速1号環状線等の大阪中心部の混雑区間から迂回を誘導するため、ETC情報を活用した駐車場料金のインセンティブについて検討することとされている。

このため、関係者により本検討会を設立し、会場外駐車場の利用料金の検討との連携を図りながら検討を進めることとした。

大阪・関西万博時の会場外駐車場周辺地域への影響低減や交通混雑緩和等に向け、会場外駐車場へのアクセス経路を駐車場料金におけるインセンティブ等によりマネジメントし、交通の円滑化等の実現を目指し、必要な検討と調整を行うことを目的として、万博駐車場交通連携システム検討会を設立するものである。